

# 令和2年度 学校経営要綱

粕屋町立粕屋中学校  
校長 中村 国広

## 1 学校経営の基盤

### (1) 公教育としての学校

- 日本国憲法、教育基本法をはじめとする関係諸法規、中学校学習指導要領、福岡県教育施策、粕屋町教育施策に則った教育を行う。

### (2) 現代社会の要請及び社会の変化に対応していく学校

- 急速に進む科学技術の革新、グローバル化等の社会変化を踏まえ、社会の抱える課題の解決に寄与することのできる生徒を育成する。
- そのために、社会変化の動向を見据え自らがその変化に対応していくことのできる教師を育成する。

### (3) 生徒、保護者、地域から信頼される学校

- 生徒、保護者、地域の願いやニーズに対応し、信頼され愛され誇りとされる学校を創造する。
- 学校、家庭、地域が一体となって生徒の健全な成長を支援するコミュニティ・スクールを推進する。

## 2 教育目標

### (1) 粕屋中学校の校訓

智 (かしこく)	仁 (やさしく)	腕 (たくましく)
主体的に学ぶ意欲と態度 確かな学力 思考力・判断力・表現力	気づく目、気づく感性 自他を尊重し感動する心 ともに助け合う実践力	規範意識と判断力 健康な体と体力 粘り強く取り組む態度



### (2) 粕屋中学校の教育目標

**豊かな人間性を持ち、たくましく未来を切り拓いていくことのできる生徒の育成  
～教育理念『粕中 ACTION』を通して～**

■ 「豊かな人間性」とは、校訓の「仁」である。つまり、他者とともによりよく生きていく上で必要となる資質・能力である。具体的には、他者や環境の変化に気づく目、気づく感性、自他を尊重しともに感動する心、また、他者ととも助け合い行動できる実践力等を指す。

■ 「たくましく未来を切り拓いていく」とは、校訓の「智」「腕」が実現されていくことである。つまり、急速な技術革新、グローバル化、少子化等、変化を遂げる未来を生き抜くための資質・能力は、学力、体力並びにそれを支える意欲や態度である。具体的には、学びへの意欲・態度や思考力・判断力・表現力を包括した学力、そして、健康な体と体力、規範意識や判断力、さらには物事に粘り強く取り組む態度等を指す。

■ この教育目標を具現化するために、教育理念（スローガン）として『粕中 ACTION』を掲げ、教育活動を展開していくものとする。

□ 粕中 ACTION とは

粕中 ACTION とは、粕屋中学校の教育目標を達成するために、生徒のみならず、教職員を含め粕屋中学校総体として取り組んでいく、本校の教育活動を推進する理念であり、スローガンであると同時に、我々が兼ね備えておくべき資質・能力である。

これは、創立の理念である校訓【智】【仁】  
【腕】を踏まえ、本校の教育目標の達成及び  
本年度の重点目標の達成し、学校の抱える教育課題、経営課題を解決するための基盤となるものである。

行動・実践	<b>A</b> Affection	愛情、慈しみ
	<b>C</b> Challenge	挑戦、努力
	<b>T</b> Teamwork	チームワーク
	<b>I</b> Imagination	想像、創造
	<b>O</b> Obligation	義務、責任
	<b>N</b> Notice	気づき

<b>ACTION</b>	「行動」である。机上論ではなく、可視化された生徒の姿、教師の姿を求める。
<b>A</b>	思いやりの心、感謝の心などをもち、相手を気遣い思いやる行動をする。
<b>C</b>	課題や直面する困難、または新しいことに立ち向かって粘り強く努力し続ける。
<b>T</b>	チーム、グループで協力し合い、助け合い、協働して課題を解決する。
<b>I</b>	既成概念にとらわれず、事象を多面的・多角的に捉え、よりよいものを創り上げる。
<b>O</b>	学校、社会の一員としての自覚をもち、義務を果たし責任ある行動をとる。
<b>N</b>	まわりの人・もの・こと存在、変化、善悪等に鋭く気づく感性をもつ。



(3) 教育目標が描く具体的な姿

① めざす生徒像

- A : 自他を大切に、思いやりと感謝の心をもって行動できる生徒
- C : 課題や直面する困難、または新しいことに立ち向かって粘り強く努力できる生徒
- T : 心身ともに健康で、仲間と協働して課題を解決できる生徒
- I : ものごとを多面的・多角的に捉え、よりよいものを発想豊かに創造できる生徒
- O : 学校、社会の一員としての自覚と規範意識をもち、義務を果たし責任ある行動ができる生徒
- N : まわりの人・もの・こと存在や変化、善悪等に鋭く気づくことができる生徒

② めざす教師像

- A : 愛情と情熱をもって生徒に接し、感動を創造できる感性の豊かな教師
- C : 率先して研修・研鑽に臨み、チャレンジし続ける向上心の高い教師
- T : 「チーム粕屋」として協力し合い、助け合い、協働して課題を解決していく協調性の高い教師
- I : 事象を多面的・多角的に捉え、よりよいものを創り上げる発想と創造性の豊かな教師
- O : 教育公務員としての自覚をもち、義務を果たし責任ある行動をとる自分に厳しい教師
- N : まわりの人・もの・こと存在、変化、善悪等に鋭く気づく教育感度の高い教師

③ めざす学校像

- A : 愛情・情熱・誠意をもって生徒・保護者・地域に接する温かい学校
- C : 生徒の知性と人間性を高めるためにチャレンジし続ける学校
- T : 教職員、生徒がベクトルを合わせて一丸となった感動溢れる学校
- I : 課題解決、掲げた目標に向かって創意工夫していく創造性のある学校

○：秩序があり、教育の使命と責務を果たす信頼される学校

N：生徒とその人間関係、教育環境等の課題に気づき改善していく安心安全な学校

#### ④ めざす家庭像

A：愛情に溢れ、子どもの感性を育む家庭

C：子どもの知性と人間性の醸成を支援する家庭

T：学校と家庭が連携するとともに、家族がお互いに支え合う温かい家庭

I：子どもの抱える課題に対して知恵を絞り解決していく家庭

O：規範意識と厳しさをもって、社会における義務と責任、モラルを指導・育成する家庭

N：子どもの変化にいち早く気づき適切な対応ができる家庭

#### ⑤ めざす地域像

A：子どもを見つめ、子どもの個性を認め伸ばす、教育力のある地域

C：子どもの健全な成長のための取組を推進する地域

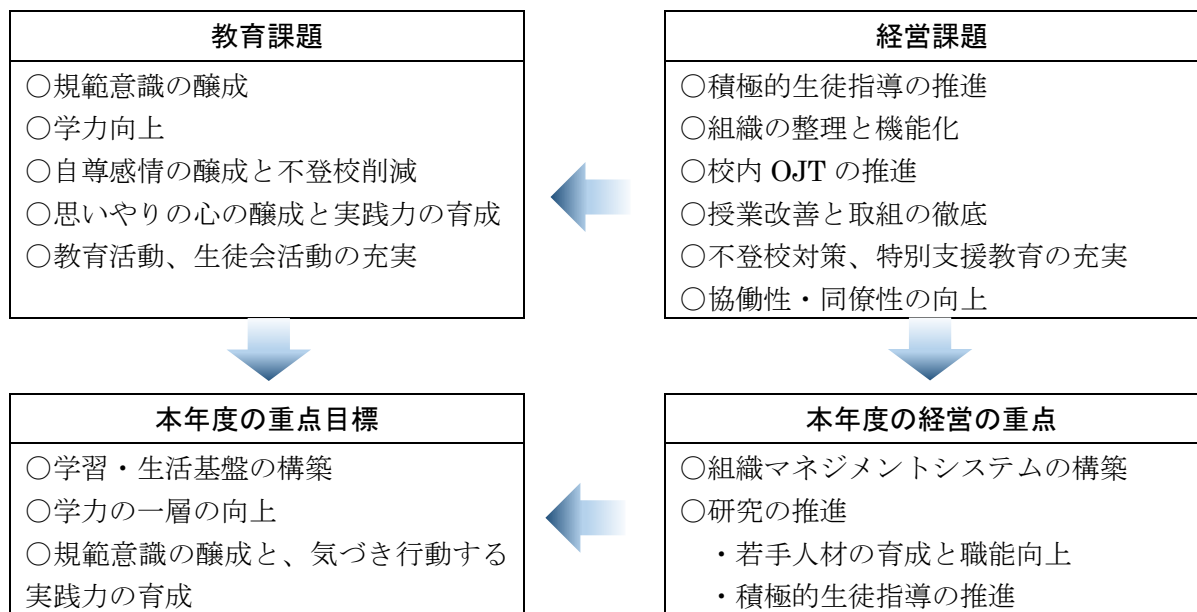
T：学校の抱える課題を理解・共有し、学校・家庭とともに課題解決に取り組む地域

I：子どもや地域の抱える課題に、知恵を絞り解決していく地域

O：愛情と厳しさをもって、社会における義務と責任、モラルを指導・育成する地域

N：子どもの変化に気づき支援する地域

### 3 粕屋中学校の教育課題、経営課題及び本年度の重点目標と経営の重点



#### 重点目標達成のための校長の見解

##### (1) 教育活動を構成する3要素

様々な教育活動は、「目的」「内容」「方法」の3つの要素の整合性がとられる必要がある。そして、職員、生徒に明確に提示され、共有化されておく必要がある。

- i. 目的：その教育活動の目的は何か？
- ii. 内容：その教育活動で何を行うのか？
- iii. 方法：その教育活動をどのように行うのか？

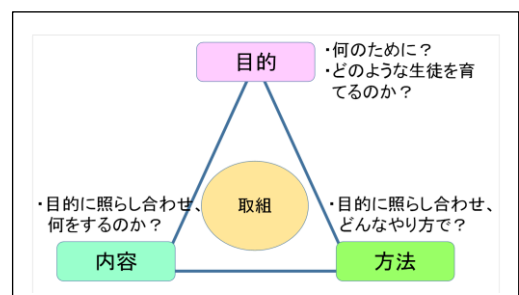


図1 教育活動を構成する3要素

## (2) 教育活動の良し悪しを判断する局面

また、教育活動の良し悪しは、3つの局面から見取ることができる。

- 局面1 課題意識、課題把握、具体的なゴール像の具体化、取組の計画 (RV・P)
- 局面2 取組の実際、取り組みのプロセス (D)
- 局面3 結果、変容 (CA)

上記のように、3つの局面はRV・P・D・C・Aサイクルと合致する。